

レッドステージ移行後の基本的な考え方

第20回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議（7月3日開催）で確認されたレッドステージにおける教育内容

授業形態	分散登校・短縮授業・オンライン授業
教室の人数	20～15人程度
学校教育活動	感染リスクの高い活動（近距離での活動、合唱・管楽器演奏等）を実施しない
感染症対策	基本的感染症対策（手洗い、マスク着用等）通学での密を避ける（時差通学等）



- ・学校や保育所におけるクラスターが報告されるようになったが、社会全体から見ると多くない
- ・20歳未満の患者は無症状から軽症が多い
- ・学校閉鎖は流行阻止効果に乏しい
- ・屋外活動や社会的交流が減少することは、子どもの心身に影響を及ぼす
（「小児のコロナウイルス感染症2019(COVID-19)に関する医学的知見の現状」2020/11/11 日本小児科学会より）



【対応案】

レッドステージに移行したとしても、分散登校・短縮授業は行わず、1教室40人の通常形態で教育活動を継続する。
ただし、感染症対策を改めて徹底するとともに、特定の教育活動は制限する。

レッドステージ移行後に制限する教育活動等について

感染リスクの高い教科活動	長時間、密集又は近距離で対面形式となる活動等を行わない。 （例） ・音楽：室内で児童生徒が近距離で行う合唱 ・体育：児童生徒が密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする運動 ・家庭：児童生徒同士が近距離で活動する調理実習
修学旅行 府県間の移動を伴う教育活動	旅行（移動）先の都道府県が大阪からの受け入れを拒否している場合、中止とする。
部活動	各競技団体等のガイドライン等に基づき、一部活動内容を制限する。

今後における留意点

- 不安により登校できない児童生徒等への対応について
・引き続き出席停止扱いとし、オンラインを活用するなど、児童生徒等の学びを保障する。
- 年末年始の教育活動等について
・陽性者発生時の社会的影響等を踏まえ、部活動等を含む教育活動等を行わないこととする。ただし、当該期間中に開催される公式戦等には、参加可とする。
- 入学者選抜等について
・換気の徹底、マスク着用、体調不良者等の別室受験等、感染症対策を徹底して実施する。（1月にマニュアルを作成し、通知する。）

市町村立学校及び私立学校について

府立学校の取組みを参考送付し、設置者の判断により決定していく。